

<プログラム>



第19回定期演奏会

指揮. 千葉了道
伴奏. 石川勲子

1985.7.1 (月) 6:30 PM
岩手県民会館中ホール

[I] ハリストス正教会聖歌
指揮 佐藤 洸
・悪人のはかりごと
・イサイヤよろこべ
・主の祈り
・天使ヘルビムの歌

[II] 青島広志編曲「帰ってきた歌」より
指揮 千葉了道
伴奏 石川勲子
・花の街 江間章子 作詩
団伊玖磨 作曲
・ふるさとの 三木露風 作詩
斉藤佳三 作曲
・野薔薇 三木露風 作詩
山田耕筰 作曲
・曼珠沙華 北原白秋 作詩
山田耕筰 作曲

[III] 千葉了道作品より
指揮 千葉了道
伴奏 石川勲子
・味噌汁の歌 菊池栄助 作詩
・貝がらの歌 千葉裕子 作詩
・かげっこ 渡辺宣子 作詩
・木枯らし寒く
・南部よしやれ 岩手県民謡

[IV] 混声合唱組曲「北の河」
指揮 千葉了道
伴奏 石川勲子
佐々木逸郎 作詞 / 柳田孝義 作曲
・凍原の河
・水ぬるむ
・ものおもう河
・さけ帰る日に
・河よ

<団員名簿・出演者名簿>

<指揮者・ピアニスト・役員>

常任指揮者	千葉了道
ピアノ伴奏者	石川勲子
委員長	牛越
副委員長	
会計	
パートリーダー	
	Sop.
	Alt.
	Ten.
	Bas.

<主な活動> 昭和60年 1985年

< Sop >		金子藤柴	矢中井沢田	妙育里明昭裕	子子子子子子
太駒高中野柴菅	田木館村崎田野	和美千静利葉フジ	和子子子子子子	子子子子子子	子子子子子子
< Alt. >		鎌大川千久藤	澤和村泥慈村	光富公世陽	子子子子子子
寒河伊吉内山	江藤嶋田根	怜尚裕喜美	子子子子子子	子子子子子子	子子子子子子
< Ten. >		大福藤尾	友田村形	晃清治夫	佐々木坂川
			雄利		壮一攻己
< Bas. >		牛齋照	越藤井隆	恂宏一	山根茂昭
					金佐藤茂太郎

ご 挨拶

北声会19回目の定期演奏会に、ようこそお越し下さいました。

北声会と名称を変えて、もう19年にもなるかと思うと感無量のものがあります。

皆様のご愛顧の賜と感謝申し上げます。

当初からの団員も10人ほど残っておりますが、それだけ平均年齢も高くなりました。でも皆元気で歌い続けています。

さて、振り返って過去のプログラムを見ますと、必ず指揮者の千葉先生の作品を取り上げているのが特徴です。では過去10年ほどの曲目をあげてみます。

千葉先生の作品では「河童と蛙」「開びやくの歌」「蘇民」「提灯さげてゆく花嫁」「飛沫章」「あじさい」「海のひぐらし」「花よにおいて」「平泉による四つの混声合唱曲」「岩手の民謡集」「ホームソング集」「午後」「菜の花」そして昨年、千葉先生が大病をなさったあとの新作「十一面観世音菩薩への賛歌」など、そのいずれもが、岩手県内在住の詩人たちの作品によるものです。

また、この十年間に、石井欽先生を客演指揮者として二回お迎えし、北声会のための新曲「杉の木のうち」なども発表させていただいたほかに、団友や団員の作品も、手作りの歌として発表してきました。—— 地方色を大切にしたいからでした。

今回は、千葉先生の作品の中から、軽いものを何曲かえらんでお届けします。そのほか北声会だけが取り組んできたギリシヤ正教（ハリストス正教会）聖歌、そして、北の声にふさわしい「北の河」……はたしてどれだけご期待に応えられる表現ができますやら、とっくりとご賞味の上、よろしくご批判、ご指導のほどお願い申し上げます。

(運営委員一同)



60.7.1

地方色を十分に発揮

盛岡・北声会
定期演奏会

19回

盛岡市の混声合唱団北声会
(千葉了道指揮)の第十九回
定期演奏会が、一日午後六時



半から同市内丸の県民会館中
ホールで開かれ、持ち味を十
分に発揮した演奏を聴かせ
た。

合唱団は毎回、地元の歌、
手づくりの歌をプログラムに
取り入れ、地方色を生かした
コンサートを行っている。今
度も指揮者千葉氏の作品集か
ら「味噌汁の歌」「貝がらの歌」
など五曲をはじめ、県内では
合唱団だけが取り組んでい
るハリストス正教会聖歌など
意欲的なプログラムを組み、
充実した演奏会となった。

千葉氏のアレンジによる地
元の民謡「南部よしゃれ」、北
の声”にふさわしい曲として
選んだ合唱組曲「北の河」(柳
田孝義曲)は、一段と熱のこ

た北声会の定期演奏会

もった演奏で、合唱団の活
動姿勢が感じられる印象的な
ステージだった。